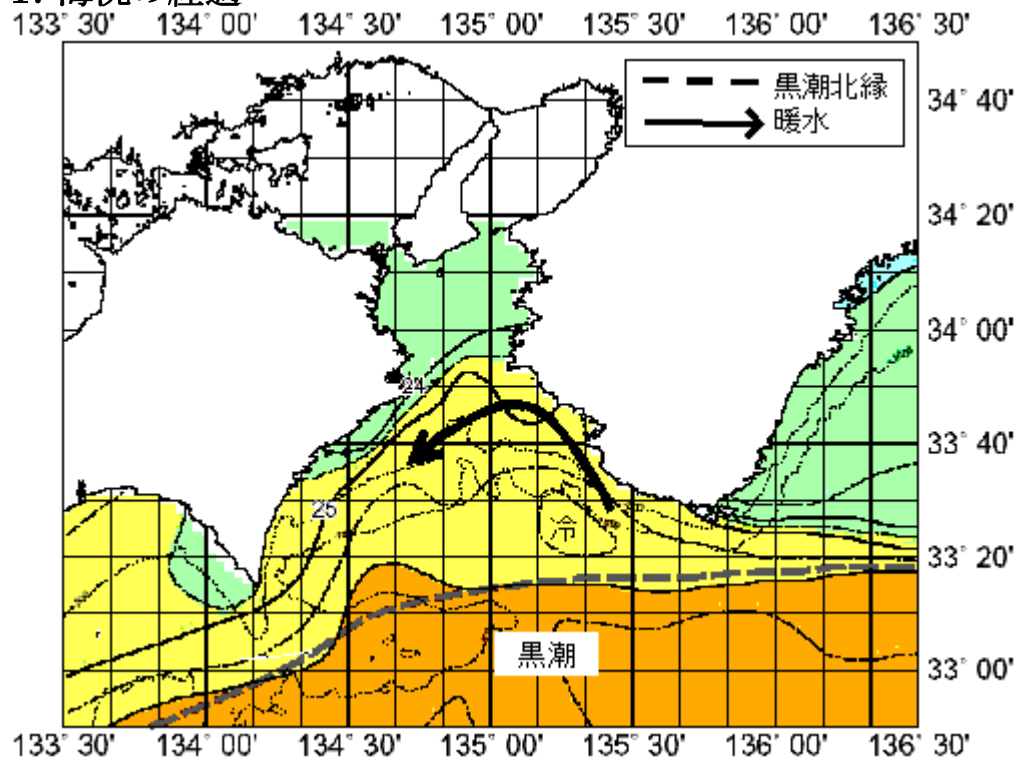


1. 海況の経過



海況 上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.10.27)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸している。黒潮本流の表面水温は26℃台である。

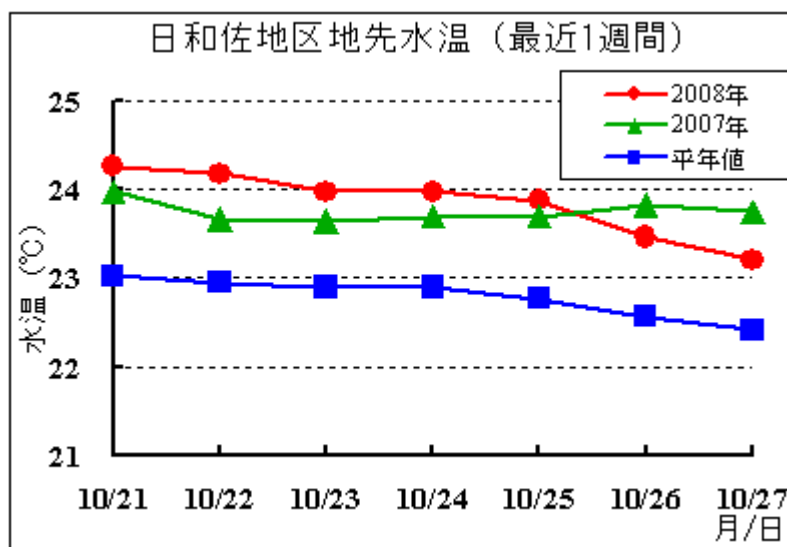
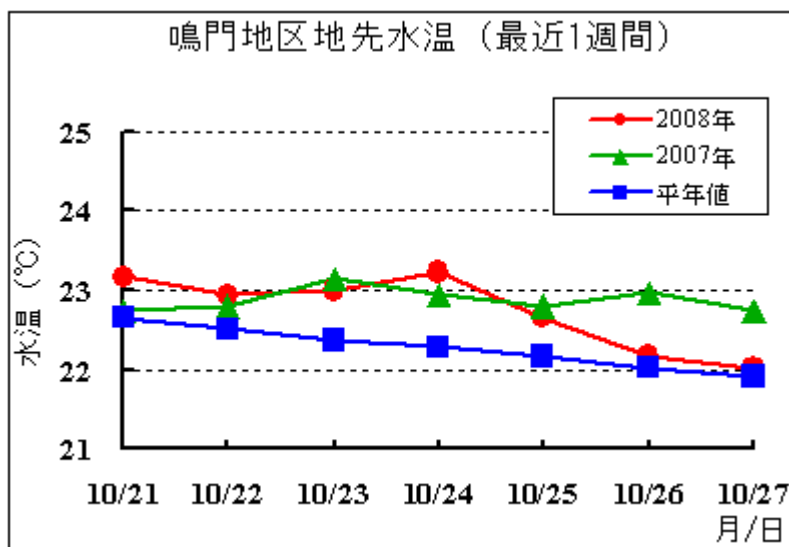
表面水温は播磨灘が22～23℃台、紀伊水道内部が23℃台、外域が23～25℃台である。

紀伊水道内部は、先週中頃までみられた和歌山県側からの黒潮系暖水の波及が弱まっている。

紀伊水道外域は、和歌山県側から反時計回りに暖水が波及し、海部沿岸では、内海系水が南下している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.0～23.2℃、日和佐地区は「やや高め」の23.2～24.3℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の23.5～24.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

すくい網:海部沿岸で、ウスバハギが0.2トン(1日1隻あたり52kg)水揚げされた。

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.4トン(同33kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(同8kg)、カマス類が0.2トン(同6kg)、小主体にタチウオが1.1トン(同47kg)、トビウオ類が0.2トン(同7kg)、小主体にマアジが0.3トン(同12kg)、小主体にマルアジが0.8トン(同36kg)、マルソウダが0.3トン(同13kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中・小主体にカツオが2.0トン(同398kg)、小主体にキハダが0.8トン(同128kg)、中・小主体にタチウオが2.4トン(同55kg)、紀伊水道で、サゴシが0.2トン(同9kg)、大・中主体にサワラが0.6トン(同26kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが112.4トン(同865kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 10月20日～10月26日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
すくい網	海部沿岸	ウスバハギ	4	208	52	
延縄		サバフグ	13	429	33	大主体
小型定置網		アオリイカ	51	383	8	
		カマス類	35	211	6	
		タチウオ	23	1,091	47	小主体
		トビウオ類	30	201	7	
		マアジ	28	333	12	小主体
		マルアジ	21	765	36	小主体
		マルソウダ	25	320	13	
		釣り	カツオ	5	1,989	398
キハダ	6		770	128	小主体	
タチウオ	43		2,354	55	中・小主体	
紀伊水道	サゴシ		24	216	9	
	サワラ		24	625	26	大・中主体
パッチ網		シラス	130	112,400	865	

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬ともに接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の23℃台、日和佐地先で「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが1.5トン(同8.5kg)、タチウオが1.4トン(同8kg)、イサキが1.3トン(同7kg)、パッチ網でシラスが36.8トン(同471kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上